

生徒会新聞

REVERB

9月号

平成26年9月1日発行
柳井学園高等学校
生徒会
<http://www.yanai-g.ed.jp/gakuen@yanai-g.ed.jp>

オープンスクール夏

八月二日(土)に「オープンスクール夏」が行われました。今年度もたくさんの中학생や保護者の方々に参加いただきました。開会行事では、校長先生や生徒会長の挨拶などが行われました。

学科・コースの説明では、各学科・コースの先生方によってそれぞれの説明が行われました。また、在校生・卒業生によるスピーチもありました。部活動体験・体験学習では、中学生の皆さんに本校の部活動を体験していただきました。閉会行事の中では、来年度からの新しい制服の披露も行われ無事に終了しました。このオープンスクールで柳井学園のことをより深く知っていただけたのではないのでしょうか。

先生方、手伝い生徒の皆さんお疲れ様でした。また、参加いただいた中学生と保護者の皆様、ありがとうございます。



G.B.コースの説明会です。



Aコースの説明会です。



グラウンドでのサッカー体験です。



音楽室では、楽器演奏の体験をしました。



看護講義室では、血圧の測定などを体験しました。



調理室では、フローゾンヨーグルト作りを体験しました。

底引き網体験

地元の二楚

七月十四日(月)に、アドバンストコース一・二年とその保護者二名、引率教員四名の合計十七名が、伊保庄マリパークで行われた底引き網体験に参加しました。

このイベントは海で減少しているアマモ場の復活に力を入れている柳井漁協の青壮年部部长、酒井章さんが、アマモ場にどんな生き物が暮らしているか知ってほしいとの思いからボランティアで開かれたものです。

今回の体験講座では、サーフネットという少し小さめの網を使って魚を捕りました。参加者たちが二手に分かれて協力して網を引くと、たくさんの大きささまざまな魚が捕れました。この作業は何度か行われて行い、酒井さんらボランティアの方からは魚についての説明を聞きま

地方によって呼び名の違う魚、強い毒性のあるハオコゼという魚の説明など興味深い話が多くありました。また、生徒たちは砂浜にいたヤドカリやヒトデにも触ってみるなど、自然との触れ合いを満喫しました。普段はそこま



勉強合宿 志願校目指して

七月二十九日(火)から七月三十一日(木)に山口県ふれあいパークでアドバンストコースを対象に勉強合宿が行われました。この合宿で生徒たちは、各自の学習計画に従い、「小さな成功」を積み重ねるということを意識して、学習に取り組みました。分からないところは質問したり、先生方に講義をしてもらったりして、苦手分野を克服するように努力し、それぞれが「小さな成功」を成し遂げられたのではないのでしょうか。

アドバンストコースのみなさん、三日間にわたる勉強合宿お疲れ様でした。

八朔流し

願いを込めて

八月十七日(日)に、柳井川緑橋と本橋の間の川岸で行われた、第十五回「八朔の船流し」に本校のレオクラブの生徒が参加しました。この八朔流しは、若い女性が頼母船(たのもぶね)に紙人形やお供えを乗せて柳井川に流し、良縁を願ったという風習に従ったものです。そして、本校及び柳井中学校の女子生徒には浴衣、下駄履きで参加させていた



